

梓川中学校だより

発行者
梓川中学校
Tel. 78-2024

「『夢』はみんなで叶えよう！ ～ 助けてもらえる自分になる！ ～ 」

学校長 河西 哲也

3学期が終わります。そして、令和6年度が終わります。それは、新たな門出への第一歩を踏み出すことを意味します。我々の目の前には、間違いなく、未来へ向かう道が続いています。その道の先には、何がありますか？そこには、「夢」がありますか？今年度のPTA講演会を覚えていますか。講師のルッカスさんは、「夢と目標の違いは何？」と私たちに投げかけました。そして、『夢』に『期限』を設定すれば、『夢』はより具体的な『目標』となり、夢を叶える一歩が踏み出せる」ことを教えてくれました。

私は、なるほどな・・・『期限を設定する』、例えば「いつまでに夢を叶える・・・そのためにこれをする！」と心に決めれば、夢が叶う可能性がより現実的になるということかと納得しました。それと同時に、「でも、その『いつ』がやってきたとき、『夢』が叶っていないかったらどうすればいいんだろう」という不安な思いも湧き上がってきました。

松尾芭蕉の「奥の細道」でも、古代中国の詩人である杜甫の詩「春望」を引用して、「国破れて山河あり」「夏草や 兵どもが夢の跡」とあり、「夢」は、遙か昔から「叶うことのない“はかないもの”」としても多く語られています。

そういえば、私も、「いつまでも夢ばかり見ていないで大人になりなさい」なんて言われて育ってきました。

とすると・・・『夢』はいつまで見ていていいの？、『夢』は子どもの頃だけのもの？・・・いつかあきらめなければならぬもの？・・・なのでしょうが？

それでは、対話を始めましょう。お題はこれです。【『夢』はいつかはあきらめるもの？】

私はこう考えます。「残念ながら、あきらめるしかない現実の方が多い。・・・でも、これに気付けば希望はある！」と。「これに気付けば」については後でお話します。

『夢』はいつかはあきらめるもの？」と聞かれたら、あなたはどうか答えますか？・・・「そのとおり」・「そんなことはない」・「分からない」。では、その理由を考えましょう。今日も本音で語り合ひましょう！どうぞ！

アウトプットしましょう。お願いします。

「そのとおり」：実現できない現実を受け止めるしかない。でも、それが切り替えスイッチになって新たな一歩につながるはず！

「それは違う」：「夢」はいつ叶うか分からない。「あきらめなければ叶うときがやってくる！」の思いが生きる力となるはず！

「分からない・・・」：あきらめたくはないけど、叶わない可能性の方が高い。「夢」の内容にもよるけれど・・・

充実した時間をありがとうございました。

そこで、みなさんと共有したい！この3学期のみなさんの嬉しい姿！

【「みんなで創り上げる1年生」、「全校を結ぶ2年生」、「絆を胸に果敢に挑む3年生」】

1年生；2・3年生がその姿で示してくれたような尊敬される立派な先輩になりたいと願い「中学校の良さ」を、「みんなで創り上げることの楽しさ」を、新入生に精一杯伝えようとする姿。

2年生；3年生が全校を「結び」、「紡いできた物語」を確かに引継ぎ、かつ、1年生から頼られる自分たちになりたいと願い、「自分たちらしさ」も加え、「全校を結ぶ」生徒会の創造に向け力強く踏み出した姿。

3年生；自らの進路を、自らの力で切り開く自分でありたいと願い、これまで培ってきた「仲間や家族、支えてくれた数知れない大切な人たちとの絆」を胸に、時に逃げ出したくなる“人生初の大きな選択”への不安や恐怖にも立ち向かい、果敢に挑む姿。

いずれも、とても貴く、愛すべき姿です。そんなみなさんの姿、「みんなで」「全校で」「大切な人たちとの絆で」から、私は、夢を叶えるための魔法の言葉を見つけました。それは、『夢』はみんなで叶えよう！です。

つまり・・・助けてもらえばいい！ということ・・・だから・・・「助けてもらえる自分になる！」ことが大切です。

そのためにどうすればいいか？・・・それこそが、「夢」を叶えるために我々が真剣に考えるべきことなのではないでしょうか。「助けて！お願い！」って言うだけで、いつでも誰にでも助けてもらえるわけではないことは、みなさんも経験済みはず。きっと、そう言われた相手が「助けてあげたい！」と思ってくれなくてはならないはず・・・でしょ？さあ、今年度最後の、全校での対話の時間が終わりました。

今日の対話が、みなさんの夢を叶えることに繋がればうれしいです。そして、できることなら、簡単にはあきらめないで、仲間たちに助けられながら、「夢」の実現に向かって挑戦し続けるみなさんでいてくれることを祈っております。

そのうえで、この先、またいつか、どこかで、「夢」について、「夢を叶える」について語り合ひましょう。

最後に、この1年間、みなさんと語り合える嬉しい日々を、ありがとうございました。

【3月18日 三学期終業式 校長講話より】

令和7年度地区生徒会・各地区長決定

2月17日、3年生の地区長が運営する最後の地区生徒会が開かれ、来年度の各地区の地区長が選出されました。

八景山；金井 真和 / 花見；小出 晃樹 / 上野；古旗 天空 / 丸田；松田 直樹 / 上立田；岩岡 英照 / 下立田；小松 陽太 / 杏；米倉 大樹 / 上角；荻野 もえ / 下角；上兼 美優 / 小室；今井 奈月 / 北北条；宇藤 元太 / 南北条；西村 宏佳 / 大久保；工藤 璃音 / 北大妻；荒木 万葉 / 上大妻；山田 結彩奈 / 南大妻；津嘉田 花奈 / 横沢；小松 萌唯 / 氷室；深澤 秋葉 / 岩岡；神谷 璃子 / 角影台；小松 依愛 / こまち；越 裕里

公立高校後期入試日の活動

11日(火)・12日(水)には、公立高校の後期選抜入試が行われました。日々学習に励んできた3年生が、これまで培った力を発揮し、国語・数学・社会・理科・英語のテストに挑みました。また、既に進路が内定している生徒は、登校し、廊下やトイレ前の流しの清掃、3年の各教室の整頓などの美化作業を行いました。



流しを磨く

2年生は、4月当初に計画されている修学旅行に向けて行動訓練やしおりの読み合わせ、3年生を送る会の生徒会活動を行いました。行動訓練では、係生徒や職員の指示に従い、各自が素早くきびきびと行動する姿がありました。



円陣



1年生は、学年全員が体育館で、学年目標を振り返りつつ目標が達成できるようにクイズやゲームを取り入れたレクリエーションやクラスマッチを行いました。生徒一人ひとりが、学年目標「協力・メリハリ・いじめなし」を意識し、笑顔があふれ、クラスや学年全体の繋がりが実感できる時間となりました。



行動訓練 隊形移動

同窓会入会式

令和6年度同窓会入会式が、13日(木)に同窓会長の東正明さんを招いて体育館で行われました。開校72周年を迎えた梓川中学校は、1953(昭和28)年の開校以降多くの卒業生を輩出し、同窓会員数は1万人を超えています。卒業を控えた3年生は、東正明同窓会長さんの話に真剣に耳を傾け、同窓会員としての誇りと自覚を感じとる機会となりました。



同窓会

令和7年度 4月の主な行事予定

- | | |
|---|------------------------------------|
| 4日(金) 始業式2.3年登校8:50 / 入学式、2年PTA役員選出18:00~ | |
| 7日(月) 生徒会対面式、2.3年生部活動発足 | 8日(火) 修学旅行<奈良・京都>(~10日)・家庭訪問(~11日) |
| 9日(水) スライド授業開始 | 14日(月) 避難訓練、自転車点検、3年CBT |
| 15日(火) 交通安全教室 | 16日(水) PTA評議員会 |
| 17日(木) 全国学力状況調査<国語・数学・生活> | 21日(月) PTA総会<書面> |
| 25日(金) 生徒総会 | 28日(月) 1年部活動発足 |

お世話になりました

春の人事異動により退任・転出・退職される職員は以下の通りです。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 河西 哲也(学校長) 松本市立山辺中学校へ | 荒井 俊文(3年副任・理科) 松本市立女鳥羽中学校へ |
| 石井 康江(市事務) 退職 | 伊藤 優(7北担任・保体) 長野県盲学校へ |
| 浦沢 芳恵(7西担任・英語) 組合立鉢盛中学校へ | 倉上 尚子(自立支援教員) 松本市立旭町中学校へ |
| 小池 美江(1年副任・英語) 松本市立開成中学校へ | 酒井 愛(育休・英語) 安曇野市立三郷中学校へ |
| 下田 優子(養護教諭) 安曇野市立豊科北小学校へ | 白澤 保久(特別支援教育支援員) 退職 |
| 高橋 うみ(3年2組担任・理科) 岡谷市立東部中学校へ | 高橋 小雪(2年副任・数学) 長野県稲荷山養護学校へ |
| 中野 優子(市図書館司書) 松本市立波田中学校 | 松島 久登(市学力向上推進教員) 退職 |
| 柳澤 伸一(教務主任・社会) 松本市立旭町中学校へ | 山田 典孝(2年副任・数学) 松本市立鎌田中学校 |